

2021年12月6日

各位

森村 SOFC テクノロジー株式会社

SOFC セルスタックの生産拠点の集約、および本格量産に向けた設備投資を決定

森村 SOFC テクノロジー株式会社（社長：佐藤 美邦、本社：愛知県小牧市、以下、森村 SOFC テクノロジー）はこのたび、SOFC*¹（固体酸化物形燃料電池）発電システムの要となる SOFC セルスタックの生産拠点の集約、および本格量産に向けた設備投資を行うことを決定しました。

森村 SOFC テクノロジーでは 2021 年 3 月より、業務・産業用 SOFC セルスタックの量産を開始しましたが、社会情勢として脱炭素の要求が加速していることや、家庭用燃料電池市場への参入を見据え、生産能力向上のために生産体制の再構築を検討してまいりました。このたび、これまで分散していた拠点の一部を愛知県小牧市の本社工場に集約することで効率化を図り、さらに市場のニーズに合わせた十分な生産能力を確保するための設備投資を行います。

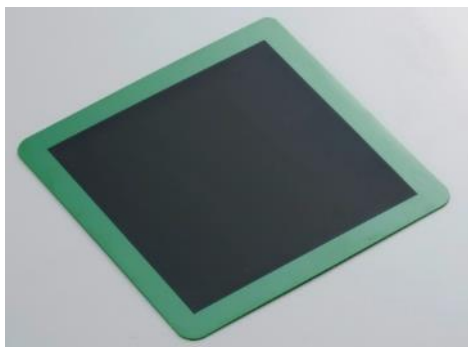
近年、脱炭素の実現に向けて再生可能エネルギーの普及が進んでいますが、太陽光や風力による発電は天候に左右されやすく、これを補完できる燃料電池を含めた分散型電源の役割はより重要になると予想されています。また SOFC 発電システムは従来の系統電源と比べると、送電ロスが少なく、高効率で CO₂ の削減効果も大きく環境に優しい製品です。さらに、近年、台風や地震、豪雨などの大規模災害が頻発しており、災害時にも安定した電力を確保できるレジリエンス機能を有しており BCP 用途としても期待されています。

森村 SOFC テクノロジーはセルスタックの生産能力向上、および安定供給を通じて、SOFC 発電システムの普及拡大、そして持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

■生産拠点集約、設備投資の概要

- セルからスタックまでの一気通貫の生産による生産活動の効率向上のため、三重県伊勢市の工場におけるセル生産工程の機能を、スタック生産工程のある愛知県小牧市の本社工場に集約します。
- 生産能力向上に向けて設備導入を行います。また、生産データの一元管理による品質管理能力向上を狙いとした新たな生産体制を構築します。

- ・ 拠点集約と設備導入を 2022 年度から開始し、2023 年度中に稼働開始を予定しています。



SOFC セル



SOFC スタック

※1 SOFC について

SOFC は、空気中の酸素 (O_2) と、都市ガス等を改質して取り出す水素 (H_2) や一酸化炭素 (CO) を利用し発電する燃料電池で、森村 SOFC テクノロジーでは発電の要となるセルスタックを製造・販売しております。

■お問い合わせ先

日本特殊陶業(株) コーポレートコミュニケーション部 下郷、齋藤 電話：052-872-5896
森村 SOFC テクノロジー(株) 管理部 石川、谷村 電話：0568-76-5225